

# 平成23年度 自己点検・自己評価報告書

(特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構・  
私立専門学校等評価基準 Ver.3.0 準拠版)

平成24年3月31日現在

森ノ宮医療学園専門学校

平成25年3月1日作成

# 目 次

<b>基準 1 教育理念・目的・育成人材像等</b> .....	<b>1</b>
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか .....	2
1-2 学校の特色は何か .....	4
1-3 学校の将来構想を抱いているか .....	5
<b>基準 2 学校運営</b> .....	<b>6</b>
2-4 運営方針は定められているか .....	7
2-5 事業計画は定められているか .....	8
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか .....	9
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか .....	10
2-8 意思決定システムは確立されているか .....	11
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか .....	12
<b>基準 3 教育活動（鍼灸学科）</b> .....	<b>13</b>
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか .....	14
3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか .....	15
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか .....	16
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか .....	18
3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか .....	19
3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか .....	20
3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか .....	21
3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか .....	24
3-18 資格取得の指導体制はあるか .....	25
<b>基準 3 教育活動（柔道整復学科）</b> .....	<b>26</b>
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか .....	27
3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか .....	28
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか .....	29
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか .....	30
3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか .....	31
3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか .....	32
3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか .....	33
3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか .....	36
3-18 資格取得の指導体制はあるか .....	37
<b>基準 4 教育成果</b> .....	<b>38</b>
4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか .....	39
4-20 資格取得率の向上が図られているか .....	40
4-21 退学率の低減が図られているか .....	41
4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか .....	42
<b>基準 5 学生支援</b> .....	<b>43</b>
5-23 就職に関する体制は整備されているか .....	44
5-24 学生相談に関する体制は整備されているか .....	45
5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか .....	46
5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか .....	47
5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか .....	48
5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか .....	49
5-29 保護者と適切に連携しているか .....	50
5-30 卒業生への支援体制はあるか .....	51

<b>基準 6 教育環境</b> .....	<b>52</b>	8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか .....	65
6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか .....	53	8-40 財務について会計監査が適正に行われているか .....	66
6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか .....	54	8-41 財務情報公開の体制整備はできているか .....	67
6-33 防災に対する体制は整備されているか .....	55	<b>基準 9 法令等の遵守</b> .....	<b>68</b>
<b>基準 7 学生の募集と受け入れ</b> .....	<b>57</b>	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか .....	69
7-34 学生募集活動は、適正に行われているか .....	58	9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか .....	70
7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか .....	60	9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか .....	71
7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか .....	61	9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか .....	72
7-37 学納金は妥当なものとなっているか .....	62	<b>基準 10 社会貢献</b> .....	<b>73</b>
<b>基準 8 財務</b> .....	<b>63</b>	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか .....	74
8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか .....	64	10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか .....	76

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学園の理念 「伝統医学の探究を通じて、臨床に優れた医療人を育成し、医学・医療の発展に貢献します」（平成 12 年制定）</p> <p>学園の精神 生命（いのち）への愛と畏敬 本学園は、昭和 48 年 3 月 1 日、当時の鍼灸界を代表する 7 人の臨床家によって大阪鍼灸専門学校として創立された。 以来、本学園の精神的支柱となってきた建学の精神「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた鍼灸師を育成する」に基づいて、鍼灸の文化の根付いた大阪の伝統を受け継ぎ、臨床能力の高い卒業生を世に送り続けてきた。また、臨床教育を充実させるため 1982 年には全国でもいち早く付属診療所と施術所を併設した。 昭和 60 年には卒後教育と鍼灸臨床家に資するため鍼灸専門誌「鍼灸 OSAKA」を創刊した。その後森ノ宮医療学園出版部を設立し、鍼灸を中心とする学術書籍の発刊等専門教育に関する出版事業を幅広く行っている。 また、中国・アメリカ合衆国の病院や大学と提携関係を持ち、日本鍼灸の紹介や海外東洋医学の現状を、交流を通じ理解促進するなど伝統医学の継承発展に努力してきた。 平成 12 年、学園の理念に基づき、鍼灸師養成のみならず、優秀な柔道整復師を育成するため、柔道整復学科を設置、同時に校名を森ノ宮医療学園専門学校とした。 森ノ宮医療学園の学生は「生命への愛と畏敬」の精神を共有し、日々研鑽に励み医療人や医療人育成に携わる者としての自覚を持ち、人格の向上と知識技術の修得に努めるものとし、学園教職員は、その学生への支援業務について遂行する。</p>	

最終更新日付

平成 25 年 3 月 1 日

記載責任者

尾崎 朋文

## 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	理念・目的・育成人材像は学則に明記のうえ、学校案内や Web ページ、学生手帳などに解りやすい表現で明確に示すべきものとする。	学則第 1 条に本校の目的として明記のうえ、在籍する全ての学生に配布する学生手帳（全 65 ページ）の第 1 頁に記載している。	特記なし。	学則 学生手帳
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	座学による授業のみならず、実習、臨床実習を効果的に行い、他校に比して多くの時間を実技、実習に割くことにより臨床実践力の養成に努めている。	全国に類を見ない学園附属の臨床実習施設（診療所含む）を有効活用し、また効果的な人員配置と協力病院の活用を図っている。	学生数の増加に対応し、教育施設の更なる拡充が望まれる。また柔道整復師養成施設としては、骨折などの急性外傷の患者への対応も望まれ、一般患者の確保も課題となっている。	
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	根本的な理念・目的は時代が変わろうとも変化することはないが、社会情勢の変化に対応することも考慮する態勢の構築を目指す。	平成 12 年の柔道整復学科の新設による内容見直しを実施した。	鍼灸師・柔道整復師の急激な増加により卒後の進路は開業中心から変化している。今後は、医院や病院など医療機関での鍼灸師・柔道整復師の活躍の場として可能性があるか、社会情勢の養成に基づく専門医療職の養成が急務である。	
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	学園の理念等に関しては Web ページあるいは学園媒体等で幅広く公表している。	現在の取り組みで多くの学校関係者や職員に徹底しているか検証が必要である。	教職員は自ら本学園の理念・目的・育成人材を把握し、学生および学外に対して説明できるよう絶えず認識することが重要であると考えている	学校案内、学生手帳 学校 Web ページ ( <a href="http://www.morinomiya.ac.jp">http://www.morinomiya.ac.jp</a> ) 校友会会報

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念・目的・育成人材像は、学校案内等に明確に示している。しかし、学外への周知徹底について、今後更なる徹底が必要である。</p> <p>本校は約 10 年前より新学科や定員の増加により学生数は多くなっている。しかし、全国的に鍼灸師・柔道整復師の志願者はほぼ横ばいであるのに対して、鍼灸師・柔道整復師の養成学校や大学が増加し、国家試験の合格率が低下し、質的保障の確保が急務である。</p> <p>本校は、その中で、特に医療専門職として社会貢献しうる優秀な人材の養成が重要であると考えます。</p>	<p>本校の教育理念の「伝統医学の探究を通じて、臨床に優れた医療人を育成し、医学・医療の発展に貢献します」は、創立以来変わらぬ理念として堅持している。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 1-2 学校の特色は何か

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	学校創設以来、臨床に強い学生を育てる努力をおこなっている。教育効果を高めるため、附属診療所・鍼灸施術所、「はりきゅうミュージアム」、森ノ宮医療学園出版部等を設置している。両学科ともに臨床実習やゼミ、および解剖学を重視しているが、特に教育効果を高めるため、大阪大学歯学部第二口腔解剖学教室での教授の指導のもと、両学科教員が系統解剖はもとより鍼灸師・柔道整復師の目で見たと解剖実習を行い、本校学生には、他校に見られない充実した見学実習を実施している。また、全学生を対象とした解剖学・生理学ゼミや鍼灸実技や包帯実技など多くの実習時間を確保し実施している。	多くの卒業生が地域医療や業界における中心的立場で活躍している。具体的には、日本鍼灸師会、全日本鍼灸マッサージ師会などの各業界関連の役員に名を連ねるなど、地域医療や業界の中心的役割を負う。多くの卒業生を送り出し、全日本鍼灸学会等の学会へも理事等役員を輩出している。	近年、同業他校においても臨床教育に力を入れており、更なる特色づけ、内容の深化が必要と考えている。 そのためには、附属診療所や鍼灸室での実習時間の拡充や内容の充実を図ることが重要であると考えている。また、新規の校外実習先の開拓も行っていきたい。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は附属診療所や鍼灸施術所、さらに「はりきゅうミュージアム」といった施設が充実している。これらの施設環境と相俟って、臨床教育の充実を目指し、解剖実習見学、解剖学や生理学のゼミ、鍼灸実技や包帯実技などのゼミの充実を計り、これにより、教育内容とその成果も専門学校として大きく水準を上げることに寄与している。	専門学校で附属診療所・鍼灸施術室、さらに「はりきゅうミュージアム」の施設を持っているのは本校の大きな特色である。鍼灸 OSAKA の発行や鍼灸実技や包帯実技等のゼミ、さらに解剖見学実習もまた本校独自のものであり、臨床教育力の充実に大きく貢献している。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	全国的にも大規模校となり、国家試験合格者数は有力校のひとつといえる。さらに鍼灸師、柔道整復師養成校としてリーダーたる地位を築く。	平成19年に森ノ宮医療大学を開学した。平成22年には附属診療所の移転拡充を図り、また近隣にアネックス校舎を建設した。平成23年度には鍼灸学科午前コースを開設させ、大学においては、看護学科、大学院修士課程を設置するに至った。また、平成24年に学園内保育所を開設するなど、学園全体を有機的な組織間連携を図り、さらなる教育施設や教育内容の充実を目指している。	中期的構想は概ね実現している。今後は優秀な学生の確保に主眼を置いた具体的中期計画と長期構想が必要と考えている。	平成23年事業報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期計画と長期構想については、学内で目標を定めて取り組み始めているが、さらなる具体化や計画の実現に向けての検討が必要である。また、教職員はじめ学生、さらには学外への情報の提供を行っている。しかし、学校間競争の激化継続に伴い、魅力ある鍼灸師・柔道整復師の養成施設として、学生募集計画などのその都度都度の修正が必要である。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------	-------	-------

## 基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営方針は基本的な方針を部門ごとに作成し理事会、評議員会の承認を得て、実施している。</p> <p>運営組織については管理運営責任者（課長以上の管理職）の会議を年 3 回行い、また、教員組織では非常勤教員を含めた職員会議を 8 月、12 月、2 月、3 月の年 4 回程度実施している。</p> <p>また、意思決定について、起案は事業計画に基づいて各担当者（管理職のみでなく）が行い、職制、職位に基づき課長、部長、校長と判断し、決済している。業務の効率、スピード化が重要であると認識している。</p> <p>人事計画は法人本部を中心に校長も参加した会議にて決定している。</p> <p>情報システムについては職員すべてが専用のパソコンを持ち、学内 LAN を構築しグループウェアの活用も含め、情報の共有や効率化を図っている。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	事業計画に基づいた予算を作成し実行している。	平成 23 年度事業計画書		平成 23 年度事業計画書
2-4-2 学校運営方針は教職員に明示され、伝わっているか	理事会・評議員会の議決事項を管理職に常にフィードバックし、管理職が一般職員に告知する。	学科においては職員会議、学科会議などを、学校全体においては教職共同の部課長連絡会を開催し、情報の共有を図っている。		職員会議議事録 学科会議議事録 部課長連絡会記録
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	必要とされる規程は整備されている。	寄附行為、就業規則、学則は言うに及ばず、その他学園諸規程についても総務課により管理されている。また、規程の作成ルールについても整備されている。		森ノ宮医療学園規程集

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
常に会議や連絡を行い、学園運営方針を全教職員が共有できるように努めている。諸規定についても規程集という形で全教職員が常に閲覧できる状態にある。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	年度ごとに詳細な事業計画を定めている。	平成 23 年度事業計画の作成		平成 23 年度事業計画書
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	事業計画どおり運営されている。	平成 23 年度事業報告の作成		平成 23 年度事業報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、事業計画書ならびに事業報告書を作成している。これらを継続的に概観することにより中期的な事業計画もうかがうことができる。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-6 運営組織図はあるか	組織図表を明確する。	森ノ宮医療学園組織規程にて定めているものを組織図にまとめている。		森ノ宮医療学園組織規程
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	運営組織図に基づき速やかな意思決定と効率的な運営を目指す。	指示命令系統に則った業務文書の作成、報告の実施など。	指示命令系の認識不足による混乱が一部部署において見受けられる。	稟議書書式、支払決裁書書式など
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	職務分掌と責任体制は明確であるが、意志決定組織の簡素化が必要と思われ、具体的には、3階層位で決裁できる体勢が望まれる。	業務分掌規程に則り、各部署ごとの業務の責任範囲と分担を定めている。	外部環境に応じた迅速な組織体制の構築がさらに望まれる	森ノ宮医療学園業務分掌規程

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
円滑な組織運営を実施している。しかし、将来学園の規模がさらに拡大したときには組織改編を行う必要があると考える。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	関係法令に基づき必要な教職員を配置する。	関係法令を遵守し教員の確保を行う。また将来計画に基づき人員計画を実施している。		
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	年1回部門別に人事考課を行っている。	森ノ宮医療学園人事考課規程により整備されている。		森ノ宮医療学園人事考課規程
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	年1回部門別に人事考課を行っている。	森ノ宮医療学園人事考課規程により整備されている。		森ノ宮医療学園人事考課規程
2-7-12 賃金制度は整備されているか	体系的な賃金制度を実施する。	森ノ宮医療学園人事考課規程ならびに森ノ宮医療学園専門学校就業規則により整備されている。		森ノ宮医療学園人事考課規程 森ノ宮医療学園専門学校就業規則
2-7-13 採用制度は整備されているか	年間計画および中期計画に基づき実施している	平成23年度事業計画書	さらに教職員の業務分掌を計り、効率的な採用を目指す。	平成23年度事業計画書
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	学校全体として事業報告書等において把握、公表している	平成23年度事業計画書	さらなる情報を収集し、優秀な人材を確保する。	平成23年度事業計画書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事に関する規程は森ノ宮医療学園業務分掌規程、同人事考課規程、森ノ宮医療学園専門学校就業規則などを定め、整備している。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------	-------	-------

## 2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	森ノ宮医療学園寄附行為に基づき、理事会を中心とした意思決定システムを構築している。	理事会、評議員会、職員会議、学科会議などによる意思決定を行っている。		理事会議事録 評議員会議事録 職員会議議事録 学科会議議事録
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	森ノ宮医療学園寄附行為に基づき、理事会、評議員会等を開催する。	理事会(10回/年)、評議員会(3回/年)等の定例会議開催。		森ノ宮医療学園寄附行為
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か	森ノ宮医療学園業務分掌規程、稟議規程等に基づき、業務・案件について速やかなる決裁を行う。	権限は明確である。意志決定について、起案は事業計画に基づいて各担当者(管理職員のみでなく)が行い課長、部長、校長と決済している。業務の効率、スピード化に留意している。人事計画は法人本部を中心に校長も参加した会議にて決定している。	意思決定は一元化し効率的に運営しているが、さらなる権限の委譲と業務の効率、スピード化が必要と認識している。	森ノ宮医療学園業務分掌規程 森ノ宮医療学園稟議規程 森ノ宮医療学園業務委任規程 森ノ宮医療学園業務決済規程

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
起案は事業計画に基づいて各担当者(管理職員のみでなく)が行い、課長、部長、校長と順次決裁することにより意思決定を図っている。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------	-------	-------

## 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	情報システム導入による、業務の迅速化、効率化を図っている。	イントラネットの構築 情報共有システムの導入と活用。HotBiz。	今後はさらなるスピードアップ化を図るためにも電子決裁システム等の活用も望まれる。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報システムについては職員すべてが専用のパソコンを持ち、学内 LAN を構築し情報の共有や効率化を図っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 基準 3 教育活動（鍼灸学科）

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>全体目標と各学科の目標を定め教育活動を行っている。</p> <p>本校は「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に関する法律施行令」および「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則」（以下「認定規則」とする）に基づき教育活動を行っている。</p> <p>カリキュラムについては、認定規則で規定されている教育内容以上の単位数を取得させると共に本校独自の認定規則外単位を設け、常に業界をリードする教育レベルを確保するよう運営している。</p> <p>教育活動状況については、カリキュラムに基づき、シラバスを作成することで学生の到達目標の明示化や単位認定の明確化などを図り、成績評価の客観性の確保等、常に到達レベルを見直し、位置づけを明確にしている。</p> <p>授業評価については、各学年次の科目終了前に実施している学生による授業アンケートを中心に各教員にフィードバックし、教育内容の向上を図っている。</p> <p>はり師・きゅう師資格取得を大きな目標として教育を行い、国家試験合格率は常に 90%以上を誇り、成果をあげている。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	森 優也
--------	-----------------	-------	------

<b>3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか</b>
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	業界のニーズは、幅広くかつ即戦力であるため、基本的な知識・技能を中心に充実させるよう努力し、就職先からも一定の評価を受けるよう努める。	各療法の疾患に対する適・不適はもちろんのこと鑑別、実技能を確保する授業構成をしている。	現状の業界のニーズは、鍼灸整骨院等での即戦力であり、教育内容と乖離する部分が課題と考えている	求人票一覧

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界のニーズは非常に幅広く、求められる人材も多種多様である。また、卒後は、直ちに患者の治療に当たることができるよう、基本的な知識・技能の修得に力を入れている。加えて、可能な限り応用力をも養うべく、毎日授業時間外に実技ゼミ等を開催している。	現状、業界のニーズの大半は、鍼灸整骨院等での業務に従事する人材を求められており、専ら鍼灸治療のみを行う業務ではないため、就業現場においては当校の教育内容と乖離する部分がみられる。

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	森 優也
--------	-----------	-------	------

## 3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を達成する知識、技術、人間性等は、業界が求めるレベルに適合しているか、また、レベルに到達することが可能な修業年限となっているか	業界のニーズレベルに近づけるよう努力しているが、十分ではない。到達レベルについては、シラバス等で明記する。	シラバス等で目標設定・到達目標を公開している。	教育期間・授業時間数の増加等が考えられるが、現実的ではない。	平成 23 年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
3 年という教育期間の中で就業に必要な知識、技術のすべてを教授することは困難と考えているので、重要な分野を明確にし、各科目シラバスにおいては、学習目標（一般目標・行動目標）を掲げ、授業内容について、到達目標、知識、技能の標準、評価の基準を明示し、学生に公表している。	鍼灸治療は、画一的な治療法を実践するものではなく、さまざまな治療法や患者ごとの疾患に応じての施術が存在するのが現状である。したがって患者や業界のニーズそのものが多岐にわたり、結果的に学生の学習動機や目標も幅広くなっている状況にある。その中で、到達目標を一点に絞り込むのではなく、さまざまな治療法を紹介することが肝要である。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	森 優也
--------	-----------------	-------	------

## 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	概ね達成しているが、実技実践力や応用力の部分でさらなる吟味を行う。	鍼灸の東洋医学では、経絡、中医学など考え方が画一的でなく、一通り教授するようになっているが、教科間で意思の疎通が十分とは言えない現状と認識している。	各教科に対して、担当に一任していたが、教科間の意志の疎通を図り、体系的に編成を行う。	関係法規 シラバス
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	業界や他施設の教員との意見交換を行う。	東洋療法学校協会の教員研修会や教育部会、教科担当者間での意見交換などを行っている。	さらに東洋療法学校協会加盟校や大学との意見交換を行い、課題の解決に努力していきたい。	東洋療法学校協会教員研修会、教育部会、全日本鍼灸学会雑誌、医道の日本
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	学科長を中心に作成したカリキュラム案を、学科全教員で協議する。	教員間でのカリキュラム作成に関する知識の共有を行っている。将来は全ての教員が同一レベルの知識を得るようにしたい。	今後は、教員全員に周知徹底し、明確な体制を維持したい。	森ノ宮医療学園専門学校学則 平成23年度シラバス
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	科目の重要性を勘案し、また、人間性や応用力を養うため、認定規則外単位を設けている。	鍼灸治療や広く医療に係る状況等の変化と新たな知見により、変化した部分や不都合が生じた場合、臨機応変な学則改訂を関係所轄庁と相談の上行い、カリキュラムを定期的に見直している。	さらに、状況を判断し、見直しの必要な部分は、見直していく体勢を維持しておきたい。	森ノ宮医療学園専門学校学則 平成23年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育内容の多くは、「認定規則」により規定される部分が多く、体系的に編成するには教育期間も鑑みると十分とは言えない。その中でも可能な限り体系的に編成するよう努力をし、定期的カリキュラムを見直す作業を行っている。</p>	<p>前述のように、教育内容は「認定規則」に規定された内容以上になっているが、より効率的なカリキュラムの構築を目指したい。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	森 優也
--------	-----------------	-------	------

## 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	適正な位置付けを目標としている。	鍼灸学科ではシラバスを作成している。	今後はシラバスの内容の吟味と実施内容が必要。	平成 23 年度シラバス
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	シラバスには到達目標、成績評価基準を明記することとしている。	鍼灸学科ではシラバスを作成している。	今後はシラバスの内容の吟味と実施内容が必要と認識し解決の方向で進めている。	平成 23 年度シラバス
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	全科目について作成されることが望ましい。	講義・実技・演習関係についてシラバスに則って授業が執り行われている。	全科目でのコマシラバスも必要と考える。	平成 23 年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
シラバスは授業の重要な柱である。積極的な取り組みを行っていきたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	森 優也
--------	-----------------	-------	------

<b>3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか</b>
---

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-14-10 キャリア教育が行われているか	本校においては教育課程全体が職業教育となっており、キャリア教育については教員は正しい理解とその実現に向け、実施できることを目標とする。	国家試験後を見据えた教育を行っている。	国家試験不合格の学生に対する指導が重要と考える。	
3-14-11 キャリア教育の実効性は検証されているか	国家試験合格率が一つの指標であるが、卒業後の進路についても把握していく。			

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は鍼灸師養成校であることから、職業教育についてはある一定の成果が見受けられるが、キャリア教育については十分ではないとの認識がある。さらに卒業後の進路についてもフォローしていく必要がある。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	森 優也
--------	-----------------	-------	------

## 3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-15-12 学生による授業評価を実施しているか	各学年次の科目終了ごとに5件法と自由記述による授業評価アンケートを実施する。	各学年次の科目終了前の授業時間中に授業評価アンケートを行っており、回収率は90%以上ある。	現在、学生による授業評価アンケートの結果を受け、教員に対してのフィードバックをいかにするかを検討中である。	平成23年度授業アンケート
3-15-13 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	一部の教員は積極的に現状を把握し、学生からの評価を活用している。フィードバック体制を充実していく。	各担当教員には、学生からの授業評価の集計一覧を手渡し、参考にしてもらっているが、学科としての評価は行っていない。	学科としての評価基準やフィードバックの仕方については、今後検討が必要。	平成23年度授業アンケート

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>授業改善や教職員の資質の向上を図るため、授業評価の実施・評価体制は重要と考えている。</p> <p>評価体制としては、学生による授業評価アンケートのみではなく、今後は教職員間での公開授業などを通して、それぞれの専門性の把握や有効的な授業評価を行っていく予定である。</p>	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	森 優也
--------	-----------	-------	------

## 3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-14 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	教授資格等、各要件を満たしている教員を採用し、教育力充実を目指し、育成していく。	採用時に履歴書の確認の他、面接面談等を実施して採用決定し、FDを実践している。	自校卒業生の採用が多く、教育期間中に教員適性や人間性、学力についてほぼ把握できていた。今後幅広く多様な人材を公募するには、現在の採用基準に加え、新たな基準作りが必要と考えている。	教員資格保有の証憑類等
3-16-15 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	実際の臨床現場で活躍している教員を採用しているため業界レベルに対応することを目標としている。	臨床に携わっている教員の採用および臨床の継続を推奨している。	教育力と臨床力とは必ずしも一致する訳ではなく、教員の人材確保には苦慮している。	採用時の教員履歴等
3-16-16 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	把握はしているが、今後教員間での評価を検討する。	教員間での評価は専門性からも難しい。教員採用時の面接等で専門性は把握している。	教員に対する評価委員会等の設置が必要。	
3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	専門性について深め、個人研究および関連学会等の参加については、学校として奨励する。	各教員に対し、個人学術費を設けている。研究計画の内容により個人学術費の中から、支給している。	学校内での専門性を高める研修は難しく、積極的に外部施術所や医学部・歯学部と連携が必要となる。	平成 23 年度、個人学術計画書および報告書

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-18 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	基礎的な教授力については極めて重要であり、不断のインストラクションスキル向上を目指す。	授業評価アンケートは行っているが、組織として評価委員会等は設置していない。	教員に対する評価委員会等の設置が必要と思われる。	平成 23 年度授業評価アンケート
3-16-19 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	(公社) 東洋療法学校協会主催の教員研修会には基本的に参加するように指導する。	初任時は、担当科目について模擬授業等を行わせ、問題点を指摘し育成を行っている。	初任時のみ行っている模擬授業等について、教授科目が2年目、3年目となっても実施する必要がある。	(公社) 東洋療法学校協会主催の教員研修会抄録
3-16-20 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	実技教科については、教育を進める上で、重要不可欠であるので、行っている。その他の教科については、順次体制を整えていく。	実技については、各期ごとに実技担当者会議等により現状認識、意見交換、改善策等を話し合い実行している。	その他の教科についても、会議等の開催が必要と思われる。	1年実技会議議事録
3-16-21 非常勤講師間で適切に協業しているか	職員会議にて意思の疎通を行う。	授業報告書等の提出までは求めている。	将来においては授業報告書の作成を義務づけ、それを元に会議等の開催が必要と思われる。	職員会議議事録

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-22 非常勤講師の採用基準は明確か	教員資格、適性等を勘案し採用する。	採用時に履歴書その他、面接等を実施して判断している。	自校卒業生の採用が多く、人間性や学力についてほぼ把握できていたが、他校卒業生も公募するには、現在の採用基準の検討が必要。	教員資格保有の証票類等

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本学園の精神的支柱となってきた建学の精神「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた鍼灸師を育成する」に基づき、臨床の第一線にいた教員により創設された経緯がある。この精神に乘っ取り、教育に携わる教員については、臨床経験豊富な教員をそろえ、また育成を図っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	森 優也
--------	-----------------	-------	------

## 3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-17-23 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	成績評価・単位認定の基準について明確にする。	筆記試験・実技試験により成績評価を行っている。試験は一定の評価以上を獲得し、規定の出席数を満たしている者が単位を認定される。	一部の担当教員によっては、試験難易度にばらつきが見られるため、試験選考委員会を立ち上げるなど成績評価基準や単位認定要件の吟味が必要と思われる。	学則の細則（学生手帳）
3-17-24 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	単位互換については、「認定規則」に則り行う。	「認定規則」および本校規定に則り単位互換を実施している。	本校の規則により、必要であれば、試験等により評価した上で単位互換を実施しているが、今後試験を課すか検討が必要と思われる。	森ノ宮医療学園専門学校 単位認定における規定

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定については、学則の細則（学生手帳）に規定した内容で運営している。単位互換については、「認定規則」に則り行っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	森 優也
--------	-----------------	-------	------

## 3-18 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-18-25 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	「認定規則」により、カリキュラムの内容が規定されている。本校においてはカリキュラムそのものが資格取得のためのものとなっている。	本校カリキュラムは、「認定規則」に規定された内容以上の単位数となっている。	「認定規則」に規定される部分が多く、それ以上の特色を出すことが困難であるが、今後も検討が必要と思われる。	森ノ宮医療学園専門学校学則
3-18-26 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	国家試験取得のための授業内容を盛り込む。	3年次の9月以降については、国試対策ばかりでなく、応用力を高めるため、国家試験科目の教科を配置している。	より効率的な科目配置について検討が必要と思われる。	平成23年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
最終目標は、国家試験合格であり、それに対する授業も行いつつ、学力不足の学生に対しては、課題提出や補講と言ったかたちでサポートをしている。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	森 優也
--------	-----------	-------	------

### 基準3 教育活動（柔道整復学科）

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は「柔道整復師法施行令」および「柔道整復師学校養成施設指定規則」（以下「指定規則」）に基づき教育活動を行っている。</p> <p>カリキュラムについては、「指定規則」で規定されている教育内容の単位数以上の単位を取得させるとともに、本校独自の指定規則外単位を設け、業界をリードする教育レベルを確保するよう運営している。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------------	-------	------

<b>3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか</b>
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	業界のニーズは幅広いが、外傷に対して適切な対応ができるよう、基本的な知識・技術を習得させるよう努力し、就職先からも一定の評価を受けること。	各外傷・疾患に対する初期対応や鑑別はもちろんのこと、その後の処置が行える実技能力を確保する授業構成をしている。	現状の業界のニーズは、鍼灸整骨院等での即戦力であり、教育内容と乖離する部分が課題と考えている。	求人票一覧

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界のニーズは幅広く、しかも即戦力として求められることが多い。そのため様々な要望に出来るだけ早く応えられるように、普遍的、基本的な知識・技能の修得に力を入れ、可能な限り応用力を養わせるよう、授業・実技・実習を工夫している。	現状、業界のニーズの大半は、外傷の治療、後療ではなくマッサージなどの手技が中心になっているが、本校では柔道整復師の本分である外傷の施術に加え、運動器疾患の鑑別についての教育に力を入れている。しかしこれら「臨床現場での基礎力」を身につけさせていることで、業界からは一定の評価を受けている。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------------	-------	------

## 3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を達成する知識、技術、人間性等は、業界が求めるレベルに適合しているか、また、レベルに到達することが可能な修業年限となっているか	業界のニーズレベルには概ね到達し、到達レベルについては、シラバス等で明記すること。	シラバス等で目標設定・到達目標を公開している。	業界の変化を見据えると、業界のニーズに応えるより、業界をリードする人材を輩出できるような教育をさらに進めたい。	平成 23 年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
3 年という教育期間の中で就業に必要な知識、技術のすべてを教授することは困難であるので、重要な分野とそうでない分野を明確にし、授業内容について・設定、到達目標、知識、技能を明らかにしている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------------	-------	------

## 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	学生の質の変化に対応するためにカリキュラムを通じて「動機づけ」をする。	概ね達成している。		森ノ宮医療学園専門学校学則
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	業界や他施設の教員との意見交換を十分に行う。	柔道整復学校協会の教員研修会や教育部会、教科担当者間での意見交換などを行っている。	さらに柔道整復学校協会加盟校や大学との意見交換を行い、課題の解決に努力していきたい。	柔道整復学校協会教員研修会
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	学科長を中心にカリキュラムを編成する。	全教員参加の学科会議により、カリキュラム決定を行っている。		森ノ宮医療学園専門学校学則
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	科目の重要性を勘案し、科目の単位時間を見直す。	施術治療や広く医療にかかる状況等の変化と新たな知見により、変化した部分や不都合が生じた場合、臨機応変な学則改訂を関係所轄庁と相談の上行い、カリキュラムを定期的に見直している。	さらに、状況を判断し、見直しの必要な部分を検討できるよう、体勢の維持に努める。	森ノ宮医療学園専門学校学則

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育内容の多くは、「指定規則」により規定される部分が多く、体系的に編成するには教育期間を考慮すると十分とは言えない。その中でも可能な限り体系的に編成するよう努力をし、定期的カリキュラムを見直す作業を行っている。	前述のように、教育内容は「指定規則」に規定された内容以上になっているが、より効率的なカリキュラムの構築を目指したい。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------------	-------	------

<b>3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか</b>
---

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをする。	概ね適正に位置付けされている。		
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	各科目の指導内容、方法等を示したシラバスを作成する。	現在シラバス作成に向けての体制を構築している。		
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスを作成する。	現在シラバス作成に向けての体制を構築している。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
シラバスは授業の重要な部分を占める。積極的な取り組みを行っていきたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------------	-------	------

<b>3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか</b>
---

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-14-10 キャリア教育が行われているか	本校においては教育課程全体が職業教育となっており、キャリア教育については今後の検討を目標とする。	国家試験後を見据えた教育を行っている。	国家試験不合格の学生に対する指導が重要と考える。	
3-14-11 キャリア教育の実効性は検証されているか	国家試験合格率が一つの指標であるが、卒業後の進路についても把握していく。			

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は柔道整復師養成校であることから、課程自体がキャリア教育そのものである。卒業後の進路についてもフォローしていく必要はある。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------------	-------	------

## 3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-15-12 学生による授業評価を実施しているか	各学年次の科目終了ごとに5件法と自由記述による授業アンケートを実施する。	各学年次の科目終了前の授業時間中に授業アンケートを行っており、回収率は90%以上ある。	現在、学生による授業評価アンケートの結果を受け、教員に対してのフィードバックをいかにするかを検討中である。	平成 23 年度授業アンケート
3-15-13 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	一部の教員は積極的に現状を把握し、学生からの評価を活用している。フィードバック体制を充実していく。	各担当教員には、学生からの授業評価の集計一覧を手渡し、参考にてもらっているが、学科としての評価は行っていない。	学科としての評価基準やフィードバックの仕方については、今後検討が必要。	平成 23 年度授業アンケート

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>授業改善や講師・教職員の資質の向上を図るために、授業評価の実施・評価体制は重要と考えている。</p> <p>評価体制としては、学生による授業アンケートのみで、今後は講師間での公開授業などを通して、それぞれの講師の専門性の把握や評価を行っていく予定。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------------	-------	------

## 3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-14 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	教授資格等、各要件を満たしている教員を採用し、教育力充実を目指し、育成に努める。	採用時に履歴書確認の他、面接面談等を実施して採用決定し、FDを実践している。	自校卒業生の採用が多く、教育期間中に教員適性や人間性、学力についてほぼ把握できていた。他校卒業生も公募するには、現在の採用基準に加え、新たな基準作りが必要と考えている。	教員資格保有の証票類等
3-16-15 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	実際の臨床現場で活躍している教員を採用しているため業界レベルに対応していると考えられるが、ともすれば専門性に特化しないよう留意する。	臨床に携わっている教員の採用および臨床の継続を推奨している。	教育力と臨床力とは必ずしも一致する訳ではなく、教員の人材確保には苦慮している。	採用時の教員履歴等
3-16-16 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	把握はしているが、今後教員間での評価を検討する。	教員間での評価は専門性からも難しい。教員採用時の面接等で専門性は把握している。	教員に対する評価委員会等の設置が必要。	
3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	専門性について深め、個人研究および関連学会等の参加については、学校として奨励する。	各教員に対し、個人学術費を予算化している。研究計画の内容により個人学術費において、研究支援を行っている。	学校内での専門性を高める研修は難しく、積極的に外部施術所や医学部・歯学部と連携が必要となる。	平成 23 年度、個人学術計画書および報告書

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-18 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	基礎的な教授力については極めて重要であり、不断のインストラクションスキル向上を目指す。	授業評価アンケートは行っているが、組織として評価委員会等は設置していない。	教員に対する評価委員会等の設置が必要と思われる。	平成 23 年度学生アンケート
3-16-19 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	個人に対する研修は十分でないが、柔道整復学校協会主催の教員研修会に参加することを目標とする。			柔道整復学校協会主催の教員研修会抄録
3-16-20 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	必要に応じ連携、協議する。			
3-16-21 非常勤講師間で適切に協業しているか	授業報告書等の提出までは求めている。	各教科の授業報告書はなく、申し送り等の情報がある程度で、十分ではない。	将来においては授業報告書の作成を義務づけ、それを元に会議等の開催が必要と思われる。	

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-22 非常勤講師の採用基準は明確か	教員資格、適性等を勘案し採用する。	採用時に履歴書その他、面接等を実施して判断している。		教員資格保有の証票類等

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本学園の精神的支柱となってきた建学の精神「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」に基づき、臨床の第一線にいた教員により創設された経緯がある。この精神に則り、教育に携わる教員については、臨床経験豊富な教員をそろえ、また育成を図っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------------	-------	------

## 3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-17-23 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	成績評価・単位認定の基準について明確にする。	筆記試験・実技試験により成績評価を行っている。試験は一定の評価以上を獲得し、規定の出席数を満たしている者が単位を認定される。	一部の担当教員によっては、試験難易度にばらつきが見られるため、試験選考委員会を立ち上げるなど成績評価基準や単位認定要件の吟味が必要と思われる。	学則の細則（学生手帳）
3-17-24 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	単位互換については、「指定規則」に則り行う。	「指定規則」および本校規則に則り単位互換を実施している。	本校の規則により、必要であれば、試験等により評価した上で単位互換を実施しているが、今後試験を課すか検討が必要と思われる。	森ノ宮医療学園専門学校単位認定における規定

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定については、学則の細則（学生手帳）に規定した内容で運営している。単位互換については、森ノ宮医療学園専門学校認定規則に則り行っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------------	-------	------

## 3-18 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-18-25 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	本校においてはカリキュラムそのものが資格取得のためのものとなっている。	本校カリキュラムは「指定規則」に規定された内容以上の単位数となっている。	「指定規則」に規定される部分が多く、それ以上の特色を出すことが困難であるが、今後も検討が必要と思われる。	森ノ宮医療学園専門学校学則
3-18-26 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	国家試験取得のための授業内容を盛り込む。	3年次の9月以降については、国試対策に重点を置いている。	より効率的な科目配置について検討が必要と思われる。	平成23年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
最終目標は、国家試験合格であり、それに対する授業も行いつつ、学力不足の学生に対しては、個別指導や補講といったかたちでサポートをしている。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	吉川 徹
--------	-----------	-------	------

## 基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の明示的な教育成果は国家試験合格であるが、もともと臨床に強い医療人の育成を掲げていることから、卒業後の進路についても手厚い指導が必要であろう。近年、業界の様相が変化していることから、将来に希望が持てないという学生も増えてきている。ただいかなる状況となろうとも、鍼灸師あるいは柔道整復師の需要が全くなくなるわけではないので、資格取得と併せてそのような学生に対する指導も粘り強く行っていきたい。</p>	

最終更新日付 平成 25 年 3 月 1 日 記載責任者 尾崎 朋文・川鍋 史一

## 4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-19-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	就職率 100%を目標とする。	学生支援課に相談に来る学生に対しては、就職完了まで確認できている。	就職先保有件数が増加する分、就職先情報の取得が困難になってきている。	
4-19-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	就職成果とその推移に関する情報を公表する。	年度報告資料を作成することにより、具体的な件数は把握できている。	就職後の早期離職者の把握は困難を極めている。	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
元々、就職という概念がない業界にあって、他校に先駆けて求人先の確保に務めてきた。その取り組みの一つとして、業界初の「合同就職相談会」も行い、以来毎年行っている。加えて、全求人先が一切の営業活動なし、口コミで集めたものであることも特筆できるが、他業種の専門学校と比較すると、まだまだ十分とは言えない。	技術力向上のために転職が当たり前の業界であるので、追跡調査は困難を極めている。また、ほとんどの求人先が個人商店であるので、求人先情報の把握は難しい。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文・川鍋 史一
--------	-----------------	-------	-------------

## 4-20 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-20-3 資格取得率の向上が図られているか	目標としては 100%とおいている。	国家試験合格率は、90%前後を達成している。	国家試験合格率 100%を目指すためには、あと少し及ばない学生に対しての指導体制を考える必要がある。	国家試験学校別合格番号一覧表
4-20-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	取得率の向上に全力を注いでいる。	資格は、国家資格であり、合格者の実数が常に発表されるので、把握できている。		国家試験学校別合格番号一覧表

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ある程度達成できていると考えるが、国家試験合格にあと一步足りないというような学生がいるのも事実である。今後はこのような学生に対してよりいっそうの指導体制の整備が必要と考えられる。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文・川鍋 史一
--------	-----------------	-------	-------------

## 4-21 退学率の低減が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-21-5 退学率の低減が図られているか	教職員が認識し、進路の変更や経済的理由などやむを得ない退学は別として、当該本人と面談を重ねる努力を実施する。	担任を中心に教職員が該当学生と話し、さらに関係者との話などコミュニケーションを取っている。	もっと、該当学生とのコミュニケーションをはかれるよう教職員の対応を模索中である。	
4-21-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	入退学者数とその推移に関する情報について把握する。	学生現況について教職員の報告。	システム化を検討している。	最近5年間の学科別入学者数・退学者数一覧、退学の事由一覧

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率 0%（入学者全員の卒業）を目標として、教員と学生のコミュニケーションを取り、学生支援体制の整備、カウンセラーの活用、診療所（内科・鍼灸室）による健康管理を充実し、心身および経済的バックアップによる退学率は全国平均をはるかに下回っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文・川鍋 史一
--------	-----------------	-------	-------------

## 4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-22-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	他校に比較して本校の卒業生が一層活躍し、業界からの評価が高まることを目標とする。	常時約 400 件の求人や業界や学会での世話役が多い。	さらに優秀な医療人を育成するための教育環境の充実を図っていく。	入学案内及び募集要項
4-22-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	社会に活躍・貢献しうる人材の育成を目標とする。	就職率が高い。約 90%。業界の副会長などの役員が多い。学会の理事も多い。	さらなる卒業生との連携と、業界や学会をリードする人材の育成を目指す。	入学案内及び募集要項
4-22-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	外部においても評価されうる人材の育成を目標とする。	在学生や卒業生の作品や発表が外部から十分に評価されている。また、卒業生の病院等での活躍や開業が評価であり、学術的発表も評価されている。	さらなる充実を検討していく。	入学案内及び募集要項
4-22-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	外部においても評価されうる人材の育成を目標とする。	在学生や卒業生の作品や発表が外部から十分に評価されている。幾多の賞をいただいている。	さらなる充実を検討していく。	入学案内及び募集要項

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生・在校生のさらなる活躍が期待できる環境作りを行い、業界での成功者や指導者を輩出したい。	

## 基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援のうちで重要と思われるもののひとつに就職支援活動があるが、本校卒業生の就職先は業種としては医療職を中心としているものの、そのほとんどが個人経営であることから膨大な数に及んでおり、その中から適性に合った就職支援を行うことを目標としている。ただ、在校生の年齢も他の専門学校と比較して高齢であり、自ら就職活動を行ったり、既に就業していたりしている者も多い。</p> <p>学生への就職指導というよりも、より良い情報の提供や、就職先との良好のコミュニケーションを継続し、橋渡しの性格が強くなっている。</p>	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------	-------	-------

## 5-23 就職に関する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-23-1 就職相談室の設置など就職支援に関する体制は整備されているか	有効に機能しているが、相談場所、人員をさらに充実する方向を目指す。	アルバイト、就職、経済面についての相談担当窓口は入学時に明確にしている。	個室の確保が望まれる。	森ノ宮医療学園業務分掌規程
5-23-2 就職に関する説明会を実施しているか	学生支援課が担当しているが、相談場所、人員のさらなる充実を目指す。	在校生 900 名に対して、実質要員 2 名での対応。	必要に応じた人員の増加と、窓口の専門特化。	
5-23-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	就職に関する学生個別相談を充実する。	本校舎の保健室内に設置。	保健室と併用しているため、急患が出た場合に課題が残る。	
5-23-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	学生支援課および教員で熱意を持って対応することを目指す。	留学生が少ないため、(今年度 1 名) 個別対応ができる。	必要性があれば留学生の取込みも視野に入れる。	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生支援の中でも就職支援に関しては比較的手厚く、丁寧な対応が出来る。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------------	-------	-------

## 5-24 学生相談に関する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-24-5 学生相談室の設置など学生相談に関する体制は整備されているか	施設的に十分とは言えないが、対応はきめ細かく実施する。	在校生・卒業生からの相談は、現状、個々の教職員で対応している。		
5-24-6 学生からの相談に応じる専任カウンセラーがいるか	学生からの相談に応じる専任カウンセラーを常置する。		学生のさらなる活用促進。	
5-24-7 留学生に対する学生相談体制は整備されているか	留学生に対する学生相談体制を整備、拡充する。		留学生数が少ない（現在、1名）	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談については多岐にわたっているため、担当制では限界があると考え	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------------	-------	-------

## 5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-25-8 奨学金制度は整備されているか	複数の奨学金制度を持つべく検討する。	国の奨学金制度と民間の教育ローンがある。	今後、数多くの奨学金制度を導入し、学生からの幅広いニーズに応えられることが重要と認識している。	
5-25-9 学費の分納制度はあるか		学生の経済状況を考え、個別に相談して認めている。		森ノ宮医療学園規程集 稟議規程

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学費の滞納については、本校に限らず現在の経済状況から増加の傾向にあると思われる。そのような中で具体的にどのような支援ができるか、奨学制度を拡充させることができるかが課題と考える。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------------	-------	-------

## 5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-26-10 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	一年に一度全学生対象に実施する。	附属診療所の活用。 鍼灸学科は4月～5月、柔道整復学科は5月～6月に実施している。		
5-26-11 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等を常駐する。	附属診療所を活用している。	夜間時の不在。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
附属診療所を擁することもあり、学生の健康管理体制は比較的整っていると考える。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------	-------	-------

## 5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-27-12 スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制は整備されているか	スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制を充実する。	学生会に全権を待たせて、学生同士の話し合いの中で決定している。土日祝日の校舎の空いている時を利用して、各種勉強会の場を内外に開放している	クラブによっては、部員数の減少から、存続の危機に立っているクラブもある。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
課外活動に費やす時間の確保が困難であるため、クラブ活動等は決して活発ではないが、そのような中でも活動している学生への支援は行ってきたい。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------	-------	-------

## 5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-28-13 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	現在、地方出身者の数が多くない為、実施例は少ないが、要望があれば十分な支援を行うことを目標とする。	新卒での地方出身者が少なく、実績は多くない。 希望者には、信頼のおける不動産業者を推薦する。	必要であれば、信頼できる不動産業者の選定を実施する。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
もともと生活環境が確立した学生の入学比率が高いことから、具体的な支援実績は多くはないが、今後は高校新卒者の入学の増加が見込まれることから、支援についても拡充させていきたい。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------	-------	-------

## 5-29 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-29-14 保護者と適切に連携しているか	保護者と適切に連携することを目標とする。	学費未納入、不登校者については、保護者同席の上、本校教職員複数名で対応している。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
特に学費の滞納に対しては、保護者との連携が大切であると考えている。面談等により、お互いにとって有益な解決方法を模索している。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------	-------	-------

## 5-30 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-30-15 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	定例会議、予算管理等を充実する。	「森ノ宮医療学園校友会」組織を結成している。	専門学校と大学が一緒になっているが、将来的にはかなりのボリュームになることが予想されるので、分化も考える必要がある。	森ノ宮医療学園校友会議事録 森ノ宮医療学園校友会会報
5-30-16 卒業生をフォローアップする体制が整備されているか	校友会で随時整備している。	再就職支援、校友会による臨床用ベッド貸し等施術スペースの提供、地方への訪問活動などを実施している。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
開校から38年を迎え、多くの卒業生を輩出してきた。本校にとっては財産ともいえるこれら卒業生との連携が今後ますます重要になってくると考えられる。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------	-------	-------

## 基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>アネックス校舎の完成など、開校以来、多くの予算を投入し、校舎新築や改修等を経て現在の施設、設備充実した。しかしこれで十分というわけではなく、入学定員の増加に伴う実習教室の利便性の悪さなどはできる限り速やかに解決していかなくてはならないと考えられる。また、耐震工事を始め、施設設備のメンテナンスや老朽化に対しても中長期計画に則り対応していきたい。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

<b>6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</b>
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-31-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	法令に基づき、整備を行っており、さらに充実させるよう努力する。	校舎施設については、2年に一度、小改装等を行い、対応できるよう努力をしているが十分でない。設備については、毎年充実させるよう努力をしている。		
6-31-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備されているか	問題が顕在化すれば直ちに対応することを方針とする。	毎日、担当職員により目視で点検を行っているほか、メンテナンス専門会社にチェックを依頼している。加えて教員および学生からも意見を聴取し、不具合等があればただちに対応している。		
6-31-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	計画の実施を遂行する。	カリキュラム変更等により、現状の施設・設備では、不十分な部分もあり、現在、更新計画を遂行中である。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
校舎施設については、実技室の整備が急務となっている状態である。あとゆりの空間も必要となっており、これに対して校舎新設計画を立案中である。	

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------	-------	-------

<b>6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</b>
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-32-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備し、進行する。	毎年、各科とも中国の天津、広州、煙台いずれか海外に一箇所研修旅行を企画している。アメリカの南オレゴン大学等で短期滞在を行っている。	研修先も含め、互いに事務室等を置き、より詳細な連携を取る必要がある。	
6-32-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認する。	研修終了後、生活態度の改善や学業成績の向上などが見られる。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中国研修や南オレゴン大学での研修などでは、参加後の学生の表情が一変するほどの効果を上げている。今後も更なる充実を行っていききたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 6-33 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-33-6 防災に対する体制は整備されているか	概ね防災に対する体制を整備する。	体制は整備されているが、有効に機能していない。	有効に機能するよう意識改革が必要であり、避難訓練等シミュレーションが必要と考える。	
6-33-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	情報の共有を重視する。	診療所のレントゲンなど十分に情報が周知されていない。	さらなる情報が十分伝えるよう検討する。	
6-33-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	事故防止に全力を尽くすことを目標とする。	灸頭鍼による火傷や、万一の場合に担当教官から診療所医師への連絡対応が確立している。	不備な点もあり、さらなる改善が必要と考える。	
6-33-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	保険に加入する。	損害保険に学生、教員が強制的に学校全体で入っている。		

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-33-10 防災訓練を実施しているか	昼間部 5 月、夜間部 9 月実施を目標とする。	年 2 回防災訓練を実施している。また、防災担当者は年 2 回消防局が開催する講習会に参加している。	東日本大震災は決して他人事ではない。防災に完全などないとの意識をもって、さらに防災意識を高めていきたい。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
万一の災害に対して、防災意識を高め、防災訓練を通じて、防災の意義を高めていきたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 学生募集</p> <p>入学試験の実施については、大阪府専修学校各種学校連合会の基準に基づいて実施している。</p> <p>学校パンフレットについては、卒業生や在校生のメッセージを多用し、本校の様子が実例をもとに、わかりやすく伝えることに努めている。</p> <p>オープンキャンパスを数多く実施し、本校の特徴をよく理解して入学してきてもらうことに力を入れている。また、オープンキャンパスに在校生も出席してもらい、個別相談等で直接、見学者に学校の様子について話してもらっている。</p> <p>社会人経験のある志願者、見学者が多いことから、保護者、保証人への説明という観点にかける部分があるため、今後は、保護者、保証人を対象とした説明会についても検討していく必要があると考えている。</p> <p>受験生の多くが、卒業生から本校の情報を聞いたことが志望動機となっていると話しており、これが本校の大きな特徴と考えているが、それらを客観的に分析する指標を持っていないことから、今後検討をしていく必要がある。</p> <p>2. 入学選考</p> <p>入学選考は、学則に基づき適正に実施している。選考は判定会議を実施し、公平に審査し、決定している。</p> <p>入学辞退者に対する対応は、連絡窓口を明確にし、規程に則り所定の手続きによって、授業料を返還し、適正に行っている。</p> <p>3. 学納金</p> <p>3年間に必要な学納金を提示し、かつ学年ごとに必要な費用についても詳細がわかるように情報提供している。</p>	<p>1. 学生募集</p> <p>今まで目標とする定員に未充足であったことはないが、学校数の増加により受験者数が増加する傾向にはない。したがって、より丁寧に本校の特徴をアピールしていくことが重要と考えている。</p> <p>資格の特性について理解してもらうために、学校パンフレットとは別に、職業紹介のリーフレット等も制作し、卒業後のイメージも描くことができることを重視している。</p> <p>本校では多くの卒業生が卒業後も学校を訪れてくれる校風があり、募集活動においても、卒業生の存在が大きく寄与していると考えているが、それらを客観的に分析してきたことはなく、今後検討していく必要があると感じている。</p> <p>2. 入学選考</p> <p>従来は社会人経験者の入学生が非常に多かったが、近年は高校新卒者の比率が増えてきており、個人情報の取扱に留意しつつ、高校との連携を深めていかなければならないと考えている。</p> <p>3. 学納金</p> <p>教育ローンや奨学金制度の説明については、さらにわかりやすい情報提供が必要と考えている。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	清水 尚道
--------	-----------------	-------	-------

## 7-34 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-34-1 学生募集活動は、適正に行われているか	大阪府専修学校各種学校連合会の入試選抜基準に基づいて入試を実施している。またオープンキャンパスを数多く開催し、本校の教育方針や教育スタイルについての理解を深めてもらう努力をしている。オープンキャンパスには在校生にも参加してもらい、個別相談において来場者に自由に学校の現状を話してもらう環境をつくる。	校内に組織横断的チームを編成し、教職員協同による募集活動を行っている。	高校への認知度を高めるための高校生対象セミナー、社会人の入学促進のために社会人対象セミナー等を実施していきたい。	募集要項、学校パンフレット
7-34-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	在校生や卒業生に協力してもらい、教育内容や学校生活、卒業後の進路が具体的にイメージしやすい内容を心がける。	学校案内等は、毎年リニューアルを行うとともに、3年ごとの完全刷新を行い、最新の状況を提示できるようにしている。また補助媒体の随時作成も行っている。	保護者からの感想を聞く機会は設けていないことから、学校説明会において必要とあれば保護者向けのアンケートを実施したい。	募集要項、学校パンフレット
7-34-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	入試、広報の担当者だけでなく、他の教職員も対応できるように準備する。	各学科の教員を含め、複数部署の人員から構成されるチームが組織され、相談内容に応じた対応を行っている。	志望者等の問い合わせ・相談に対応できる人員を多く配置しているが、より多くの教職員が対応できるように情報共有を行っていきたい。	学校組織図

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-34-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	目標とする入学定員充足のみならず、入学者選考ができる受験者数を確保することを目標としており、教員、広報担当者、入試担当者を中心とした組織横断的なチームを編成して取り組む。	開校以来、目標とする入学定員に満たなかったことはないが、学校数の急激な増加により、受験者数は減少してきている。	コースによって、募集力に差があることから、分かり易い情報提供を心掛けることで、是正を図っていきたい。	学校基本調査

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入試広報に関するチームを編成し、学園案内、志望者および保護者への対応、入学試験が一元管理されている。	学校見学者数の大きな変動はないが、受験者数は減少傾向にある。現時点では、目標とする入学定員未充足に至ってはいないが、本校の特徴をわかりやすく説明する努力を、より一層おこなっていく必要がある。

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	清水 尚道
--------	-----------	-------	-------

## 7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-35-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	臨床に即した教育の実践が基本的な教育方針であり、資格取得はもちろんのこと卒業生の活躍こそが本校の存在意義だと考えている。	求人件数については実数を公開し、資格取得実績についても国家試験受験者数とともに合格率を公開している。	より、わかりやすい提示方法を検討するとともに、情報発信が不十分であることから、情報発信力を強化していきたい。	学校パンフレット 学校 Web ページ ( <a href="http://www.morinomiya.ac.jp">http://www.morinomiya.ac.jp</a> ) 等
7-35-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	本校への志望動機の中で、「卒業生から本校を推薦されたこと」が最も多い状態を常に目指している。また、卒業生が学校に訪れてくれる機会作りに努力する。	求人先が推薦者になっている受験者数が客観的な根拠と考えている。	客観的指標が不十分であることから、今後は入学者の受験動向を調査し分析を行いたい。	求人票

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入試事務室で学生募集活動についても管轄しており、その中に就職担当者も含まれている。したがって卒業生情報が募集活動の中に反映されやすい状況となっている。	卒業生の情報については、全卒業生の追跡調査までは実施できていない。ただ、卒業後にも来校する卒業生が多くいることから、ある程度の状況を把握できている。今後は、追跡調査の実施を検討し、卒業生の動向を詳細に把握することで、客観的なデータによる分析を行っていきたい。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	清水 尚道
--------	-----------------	-------	-------

## 7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-36-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	すべての入試において、複数の評価基準を設けるようにしており、学力的指標のみならず、意欲や目的意識も選考の重要な要素と考えていることから、すべての選考基準を数値化し、公平な判定ができる状況を作る。	任命された判定委員による判定会議によって選考されている。	受験者の年齢層が幅広いことから、受験者の意欲を評価できるよう多様な入試を行っており、特に面接試験が重要と考えている。入試評価と入学後の成績との相関も面接が最も高いことから、今後も客観的に評価ができる面接官の育成を続けていきたい。	判定会議議事録
7-36-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	入学選考は教育のスタートとなるものであり、すべての教職員が高い意識を持って取り組むべき課題と考えていることから、常に最新の状況を把握できるようにする。	募集状況についての情報が、各部署に一斉伝達できるシステムをとっている。	コースごとの募集状況に近年、変化がみられてきている。その理由を分析し、より適切な入学選考を実施していきたい。	入試事務室資料

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各部門の責任者と学科教務担当者複数が判定委員となっており、それらの判定委員から構成される判定会議を実施することで、適正かつ公平な選考を行うことができる体制をとっている。	近年、高校生の入学者数が増加してきている。今後は高校にも受験状況についての情報が提供できるよう、個人情報取扱に留意して、高校との連携を深めていきたい。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	清水 尚道
--------	-----------------	-------	-------

## 7-37 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-37-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	学習しやすい環境、また快適に学生生活を送ることができる環境を提供することを重視しており、教育内容の充実はもとより施設設備面の充実を図る。	学納金の構成が分かりやすいように授業料と実験実習費、年間諸経費を分けて提示している。	より充実した授業内容の提供と、学園環境の整備を図るとともに、学納金についての相談体制を強化していきたい。	募集要項、学校パンフレット
7-37-10 入学辞退者に対する授業料等の返還について適正に処理されているか	辞退する場合の連絡先や授業料の返還等について募集要項に明記し、迅速な対応を心がける。	辞退者には辞退届を提出してもらい、授業料返還等の対応が円滑に遂行できるように体制を整えている。	現在までのところ、大きな問題は生じていないことから、現状の体制を維持発展させるように努めたい。	募集要項
7-37-11 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	学生募集に関するチームは、情報を一元化できるように編成しており、経理担当者も一員となっている。したがって学納金に関する情報も共有できる体制をとっており、適切な対応を目指す。	納付期限の時点で、経理担当から、入試担当部門に状況が報告され、学科ごとに集計できるシステムをとっている。	入学時における学納金サポート情報の提示が不十分であることから、わかりやすい提示方法を検討していく。	学園財務室資料

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金に関しては、受験生にわかりやすい情報提供を心がけている。また、学習環境や学生生活環境の整備を重視し、教育内容の充実を図っている。	教育ローンや奨学金制度等、学納金サポート情報の重要性が高まってきていると認識しており、学内での情報共有等も図って学生に適切な助言ができる体制を構築していきたい。

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	清水 尚道
--------	-----------	-------	-------

## 基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中期的には、学校財務基盤は安定しており、予算・収支計画も妥当であり、適切な会計監査が行われ、財務情報公開も不十分ながら実施している。</p> <p>長期的には、学園外部環境の激しく流動的な変化に対応しうる余力は乏しいものの、リスクの大きい投資を一切せずに、着実に運営をしてきた実績は反映されていると判断する。</p>	<p>2 学科の専門学校が母体をなし、単科大学を開設して 6 年目の学校法人であり、財政規模は比較的小規模である。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	岩崎 光治
--------	-----------------	-------	-------

## 8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-38-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	中長期的に学校の財務基盤の安定を第一に考える。	帰属収入が消費支出を上回り、中期的には安定要因が上回っている。	将来の建物建て替え等、中長期の構想に基づく、財務計画が必要と考える。	事業報告書・決算報告書資料
8-38-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握している。	主要な財務数値の推移は把握している。	数値推移から経営分析への過程が精度を上げる必要がある。	事業計画・予算計画書及び事業報告書・決算報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財政基盤は中期的には安定している。長期的には学園外部環境の激変により、予測しえないリスクに対して、積極的な対策までは進んでいない。	学園規模が小さい。専門学校を母体とする学校法人が、大学を開学して6年目である。

最終更新日付	平成25年3月1日	記載責任者	岩崎 光治
--------	-----------	-------	-------

## 8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-39-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっている。	年度予算は有効で妥当なものとなっている。中期計画は先を見込んで策定されている。		平成 23 年度予算書 平成 23 年度決算報告書 平成 23 年度事業計画書 平成 23 年度事業報告書
8-39-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	予算は計画に従って妥当に執行されている。	計画的に執行されている。	広報費は、執行状況を反映させ、予算内に収まるよう予算執行が行われつつある。	平成 23 年度決算報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度ごとの予算の執行内容は妥当である。中期的には新規事業に見合う余力を保ち、流動的な執行を常に模索している。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	岩崎 光治
--------	-----------------	-------	-------

## 8-40 財務について会計監査が適正に行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-40-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	財務について会計監査が随時適正に行われることを目標とする。	会計監査は、公認会計士のもと適正に行われている。また、監査役として常時理事会に出席されている。	より一層詳細精緻に実施する必要があるように思われる。	監査報告書
8-40-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは計画的に行われることを目標とする。	外部会計監査は、会計監事と打ち合わせのもとに実施されている。	スケジュールにゆとりが十分あるとはいえない現状である。	監査報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計監査は公正・適切であるといえる。さらに、内部監査および外部監査の実施を行う。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	岩崎 光治
--------	-----------------	-------	-------

## 8-41 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-41-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	私立学校法における財務情報公開を実施する。	私立学校法における財務情報公開を実施している。	小項目まで公開する方向へ努力したい。 財務数字の掲載だけでなく、詳細な解説も加えていきたい。	校友会報 森ノ宮医療大学 Web ページ(情報の公表 「 <a href="http://www.morinomiya-u.ac.jp/info/information.html">http://www.morinomiya-u.ac.jp/info/information.html</a> 」)
8-41-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	私立学校法における財務情報公開の形式を満たす。	校友会報や学園 Web ページでの公開。	より見やすく、図表も入れて工夫する必要がある。	校友会報 森ノ宮医療大学 Web ページ(情報の公表 「 <a href="http://www.morinomiya-u.ac.jp/info/information.html">http://www.morinomiya-u.ac.jp/info/information.html</a> 」)

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
財務情報について、適宜、積極的に公表していく体制を整えたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	岩崎 光治
--------	-----------------	-------	-------

## 基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校はあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師に関する法律、及びあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師に係わる学校養成施設認定規則、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律施行規則に基づき教育活動を行っている。</p> <p>また、社会的にも法令遵守し適正な学校教育を行なっている。</p> <p>鍼灸師・柔道整復師の業務に関し法令遵守の精神を教育に取り入れ徹底を図っている。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-42-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	コンプライアンスを重視する。	法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営が実施されている。		厚生労働書 大阪府私学課報告書
9-42-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	コンプライアンスを重視する。	教職員研修会を実施している。学生に向けては医療概論や関係法規の授業中に行っている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-43-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	森ノ宮医療学園個人情報保護に関する規程に基づき、対策が取られている。	申請を行った教職員のみが個人情報に閲覧することができる。	データ閲覧に権限を持たせている。加えて各 PC のジョブ履歴をとる等の対策が必要であろう。	森ノ宮医療学園個人情報保護に関する規程
9-43-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	学生に対する啓発を充実する。	毎年、入学時オリエンテーションにて説明をし、「学生手帳」にも明記。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護に関しては、いわゆる個人情報保護法の施行以来一層厳格さが求められている。本校においても、厳重に管理していきたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-44-5 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	より一層充実する。	数年に一度報告書を作成している。第三者評価を受けるまでには至っていない。	自己点検・自己評価の公開と第三者評価の実施が求められている。	平成 20 年度自己点検・自己評価報告書
9-44-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	より一層充実する。	ようやく自己点検・自己評価報告書の作成が軌道に乗って来た段階である。		
9-44-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	周知を徹底する。	いまだ自己点検・自己評価は途に就いたばかりである。全教職員に正しくは伝わっていない。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の自己点検・自己評価はまだまだ十分な物とは言えず、第三者評価や自己点検・自己評価報告書の公開もこれからである。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-45-8 自己点検・自己評価結果を公開しているか	積極的な公表とステークホルダーはもとより、外部有識者からの助言を積極的に受ける体勢作りを構築する。	公開できていない。	重要性の理解とその推進に経営層を始め幹部教職員、一般職員に至るまで学園全体が一丸となって積極的に取り組む重要性の理解の促進。	
9-45-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	ホームページ上での積極的な公表を推進する。	今後の検討課題である。	重要性の理解とその推進に経営層を始め幹部教職員、一般職員に至るまで学園全体が一丸となって積極的に取り組む重要性の理解の促進。	
9-45-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	積極的な公表とステークホルダーはもとより、外部有識者からの助言を積極的に受ける体勢作りを構築する。	自己点検・自己評価と同様、学内に周知できているとは言い難い。	重要性の理解とその推進に経営層を始め幹部教職員、一般職員に至るまで学園全体が一丸となって積極的に取り組む重要性の理解の促進。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価に関しては本校の今後の大きな課題のひとつといえるであろう。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	-----------------	-------	-------

## 基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は鍼灸師、柔道整復師関連団体との交流も深く、直接的、間接的にその分野での貢献度は非常に高いと考えている。ほぼ毎週、校舎内で研修や研究発表などが行われている。</p> <p>また、毎年1月に献血、11月に文化祭を行い、近隣住民の方々にも参加いただいたり、セミナーを一般市民へ積極的に公開したりすること等の活動により社会貢献の一助としている。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------------	-------	-------

## 10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-46-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	各関係団体、地域と交流をしっかりと深める。	関係団体には、会場貸し等で協力している。 地域の合同避難訓練等への参加。		
10-46-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や雇用促進への支援を行っているか	学校の資源を活用し、生涯学習事業や雇用促進への支援を行うことを目標とする。	現役の小中高教員に対しては実施している。 一般人向けの講習会を定期的に実施している。		
10-46-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	緊急時の避難場所としての提供を構築する。	大阪市と共同でモデル地区作りに参画している。		
10-46-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	米国及び中国の関係する病院等との連携を充実、発展する。	年に一度、任意参加ではあるが、研修会を実施している。	取得資格が諸外国によって異なっているため、研究・情報交換等、試行錯誤の段階である。	

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-46-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	教職員のみならず、学生に対しても課外活動的に実施する。	定期的ではないが、時々に応じて実施している。	教職員研修会の再開。	
10-46-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	学校として重要な社会問題に具体的に取り組むことを重視する。	学校として重要な社会問題に取り組む必要を認識しているところであるが、成果を上げるに至っていないと思われる。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------------	-------	-------

## 10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-47-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	学生のボランティア活動を奨励、支援する重要性は認識している。	学校として清掃ボランティアはしているが、学生支援までできていない。		
10-47-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	学生のボランティア活動の状況を組織的に把握するに至っていない。		事後報告で情報が入ってくるので、事前調査等の必要性を認める。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	平成 25 年 3 月 1 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	-----------------	-------	-------